

子ども・若者アンケート調査結果（概要）

◆調査期間 小5・中2：令和6年7月9日～7月19日

16～39歳：令和6年3月1日～3月15日

◆調査方法 小5・中2：WEBによる配布・回収

16～39歳：配布は郵送法、回収は郵送又はWEB

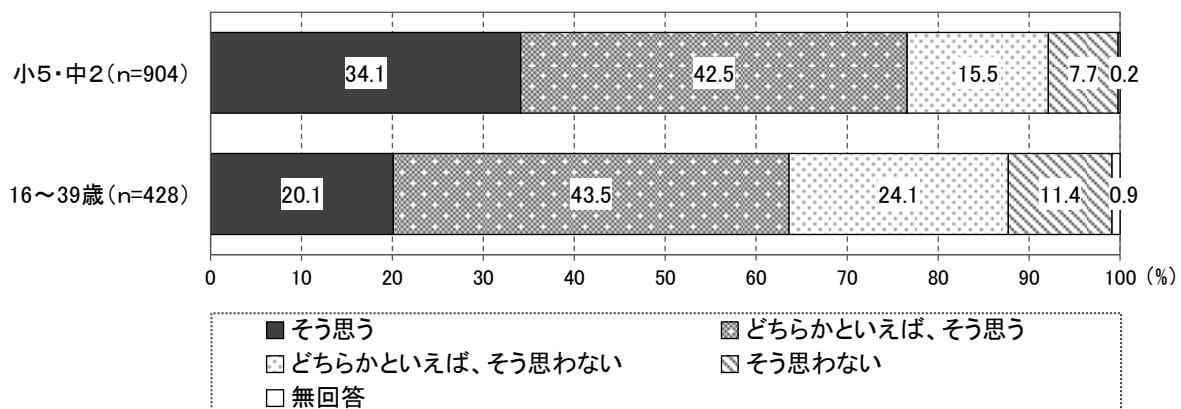
対象	配布数	回収数	回収率
小5・中2	1,072票	904票	84.3%
16～39歳	2,500票	428票	17.1%

1. 主な調査結果

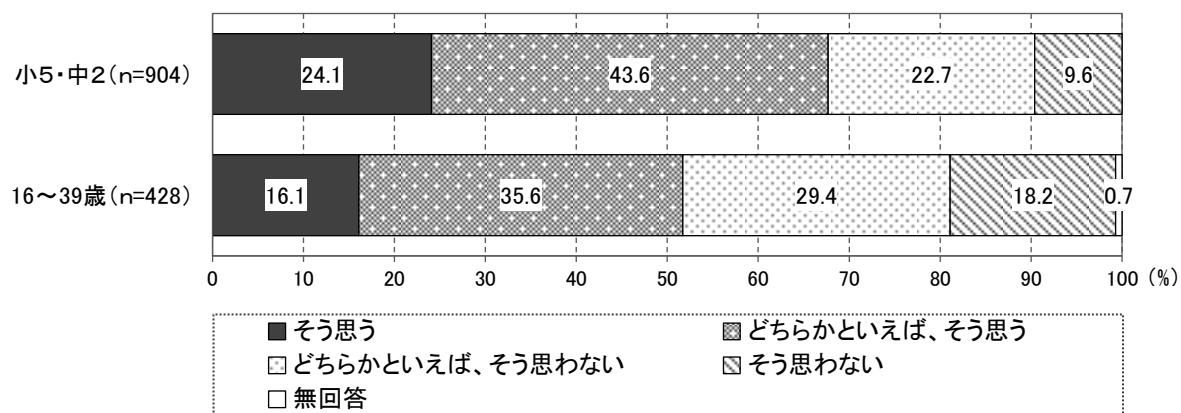
（1）自分自身に関する意識について

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”を見ると、小5・中2と比べて、16～39歳では“そう思う”（肯定的な意識）の割合が低くなっています。

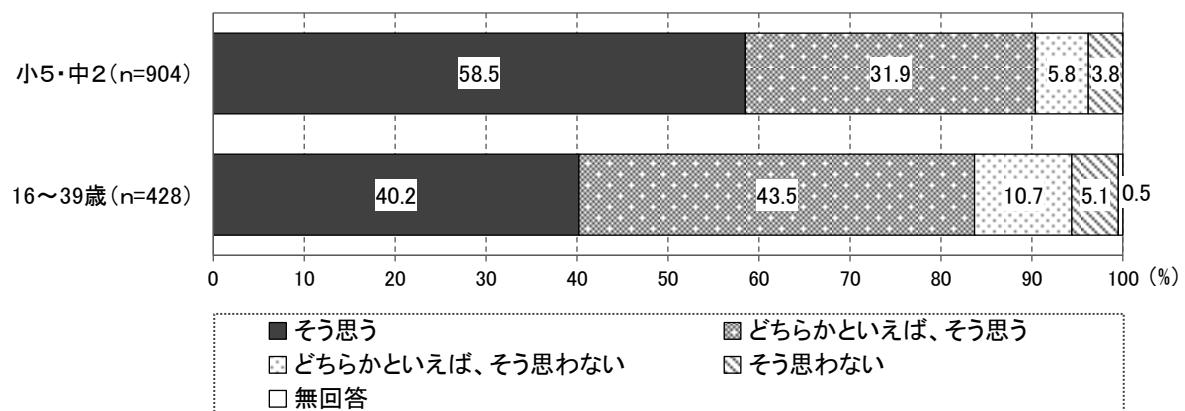
問1－1：今の自分が好きだ



問1－2：自分自身に満足している



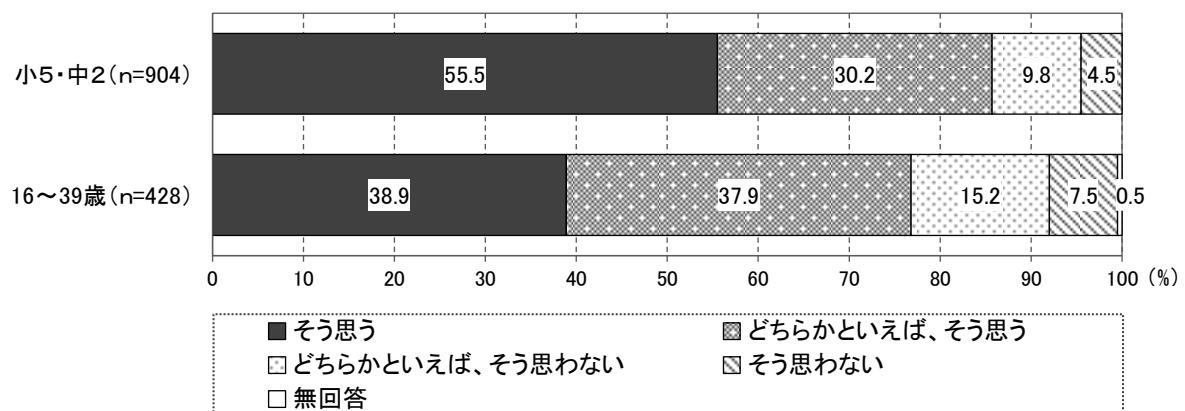
問1－3：自分は、今、幸せだと感じる



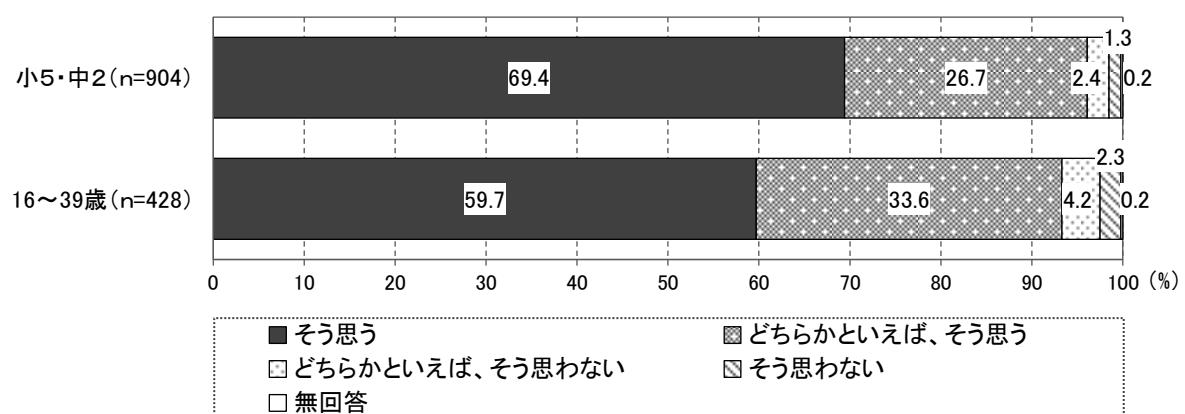
(2) 家族や親せきとのかかわりについて

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”を見ると、小5・中2と比べて、16～39歳では“そう思う”（かかわりの意識）の割合が低くなっています。

問2－1：何でも悩みを相談できる人がいる



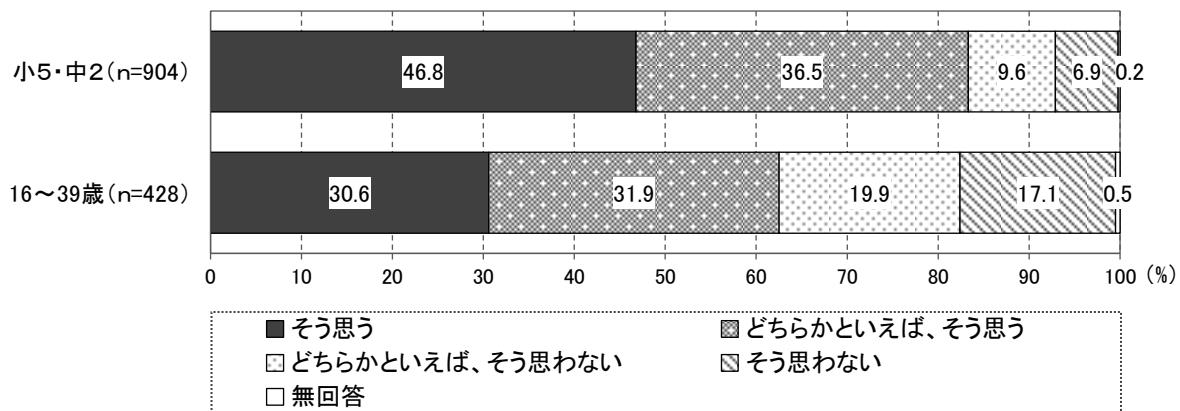
問2－2：こまった時は助けてくれる



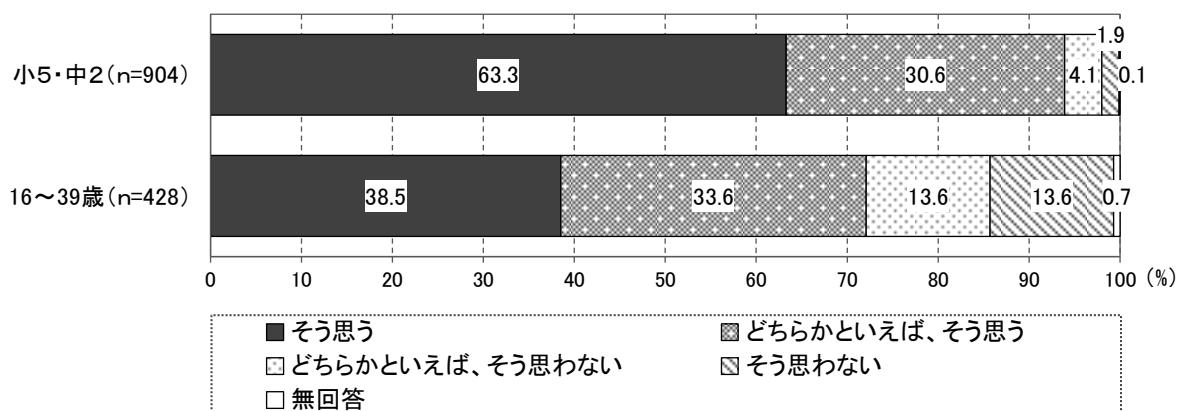
(3) 学校の友人（かつての同窓生含む）とのかかわりについて

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”を見ると、小5・中2と比べて、16～39歳では“そう思う”（かかわりの意識）の割合が低くなっています。

問3－1：何でも悩みを相談できる人がいる



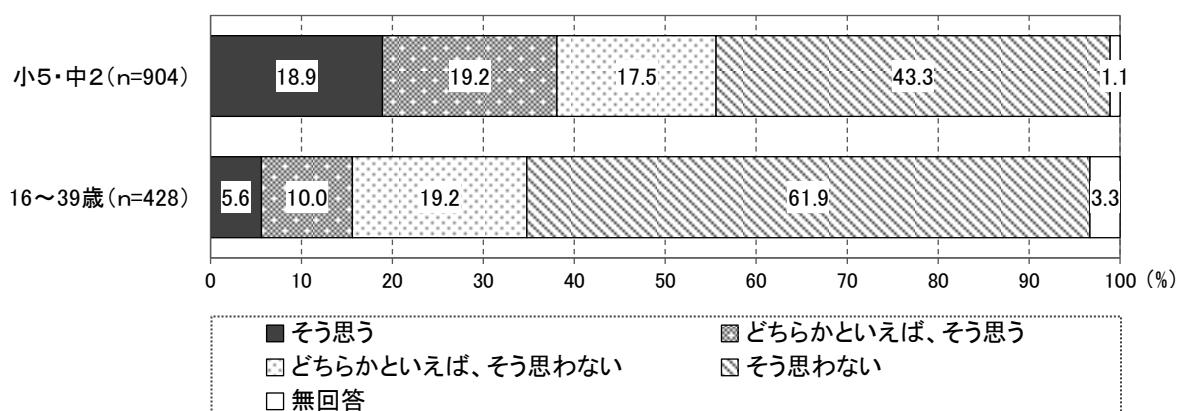
問3－2：こまつた時は助けてくれる



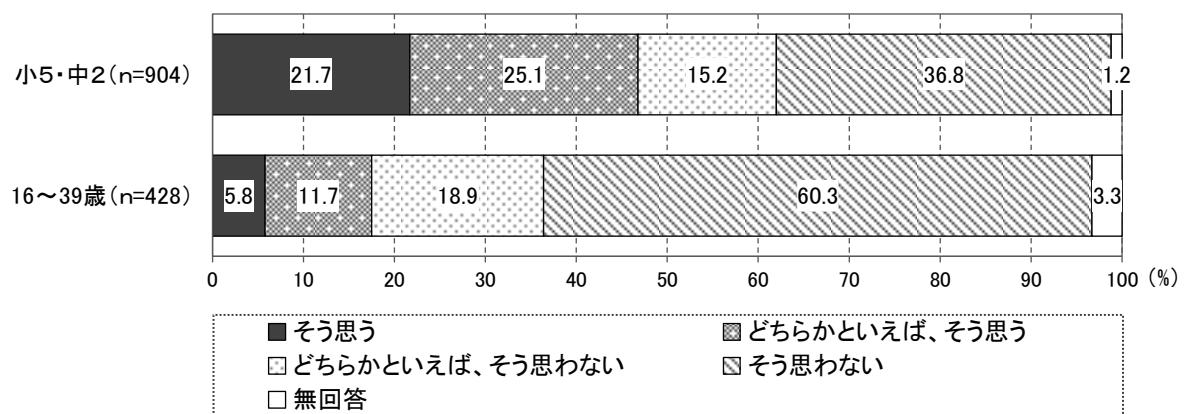
(4) インターネット上における人やグループとのかかわりについて

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”を見ると、小5・中2と比べて、16～39歳では“そう思う”（かかわりの意識）の割合が低くなっています。

問4－1：何でも悩みを相談できる人がいる



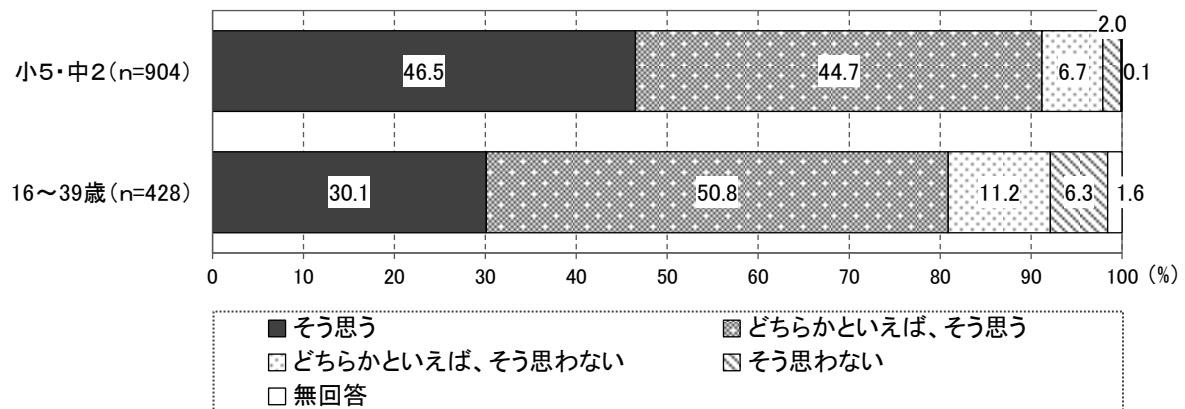
問4－2：こまつた時は助けてくれる



(5) 社会への貢献の意識について

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた“そう思う”を見ると、小5・中2と比べて、16~39歳では“そう思う”（社会への貢献の意識）の割合が低くなっています。

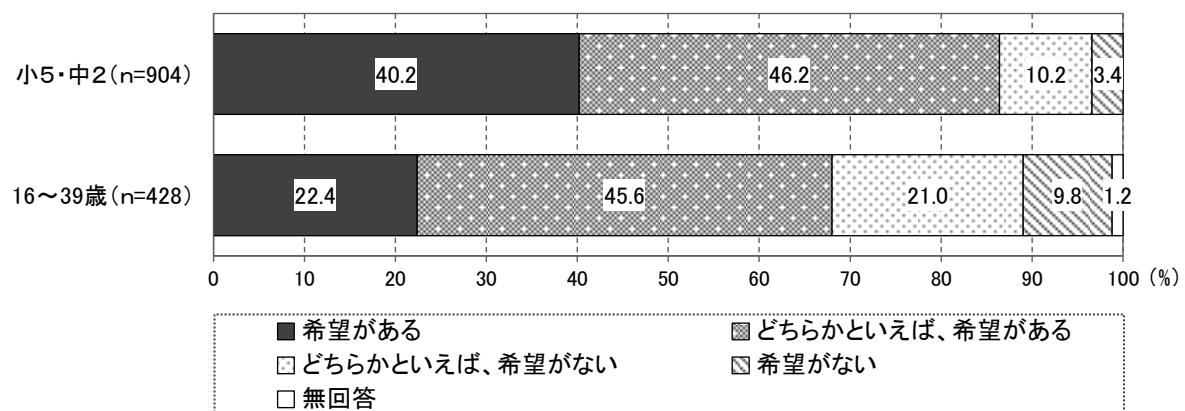
問5－1：「社会のために役立つことをしたい」と思うか



(6) 将来への希望について

「希望がある」と「どちらかといえば、希望がある」を合わせた“希望がある”を見ると、小5・中2と比べて、16~39歳では“希望がある”的割合が低くなっています。

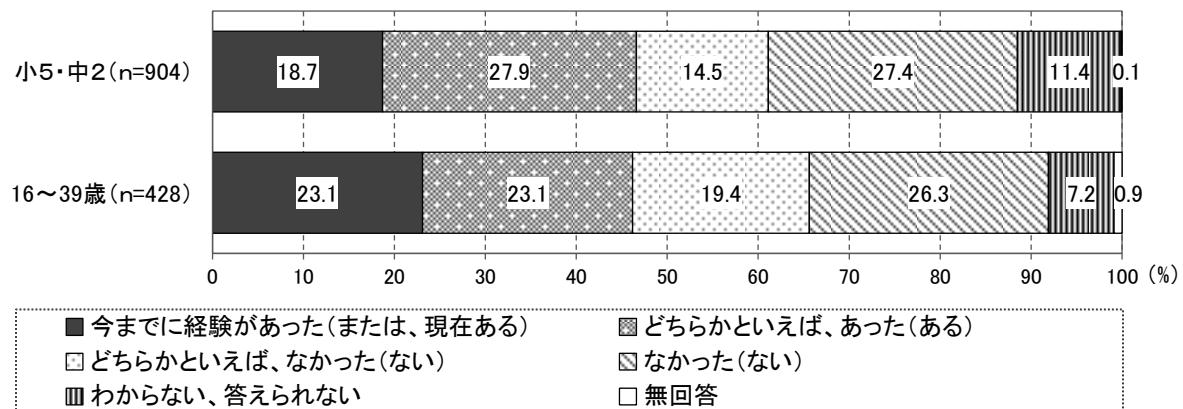
問6－1：自分の将来について明るい希望を持っているか



(7) 社会生活（学校生活）や日常生活を円滑に送れなかつた（送れない）ことについて

問7－1：社会生活（学校生活）や日常生活を円滑に送れなかつた（送れない）ことがあるか

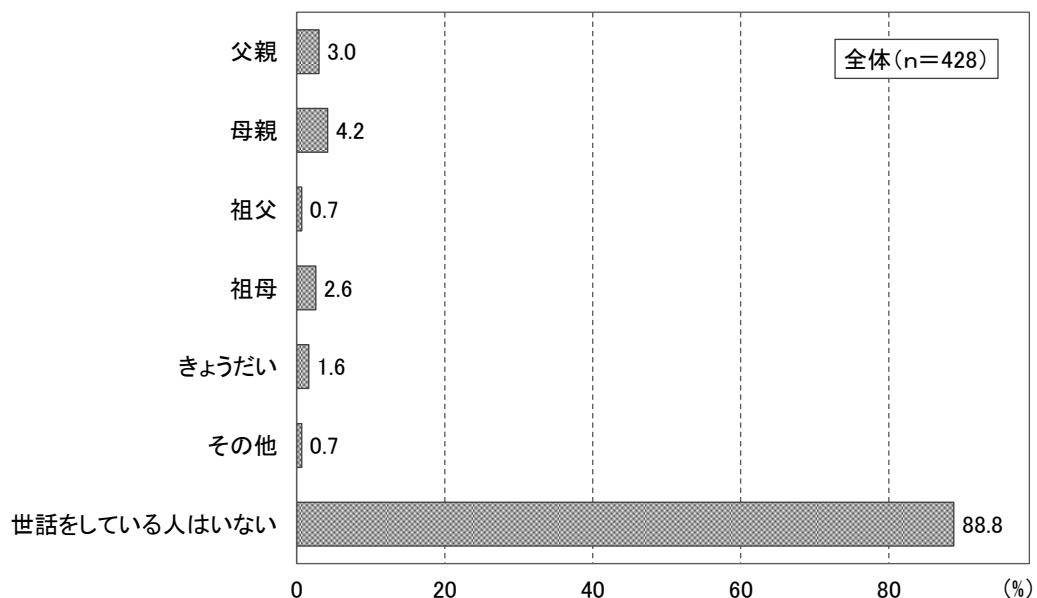
「今までに経験があった（または、現在ある）」と「どちらかといえば、あった（ある）」を合わせた“あった（ある）”を見ると、小5・中2と16～39歳のいずれも5割弱の人が“あった（ある）”と回答しています。



(8) 家族の中で世話をしている人（自分のこども以外）について

問8－1：家族の中に、あなたが世話をしている人がいるか（こどもがいる場合はこども以外で）【複数回答可】※16～39歳調査のみ

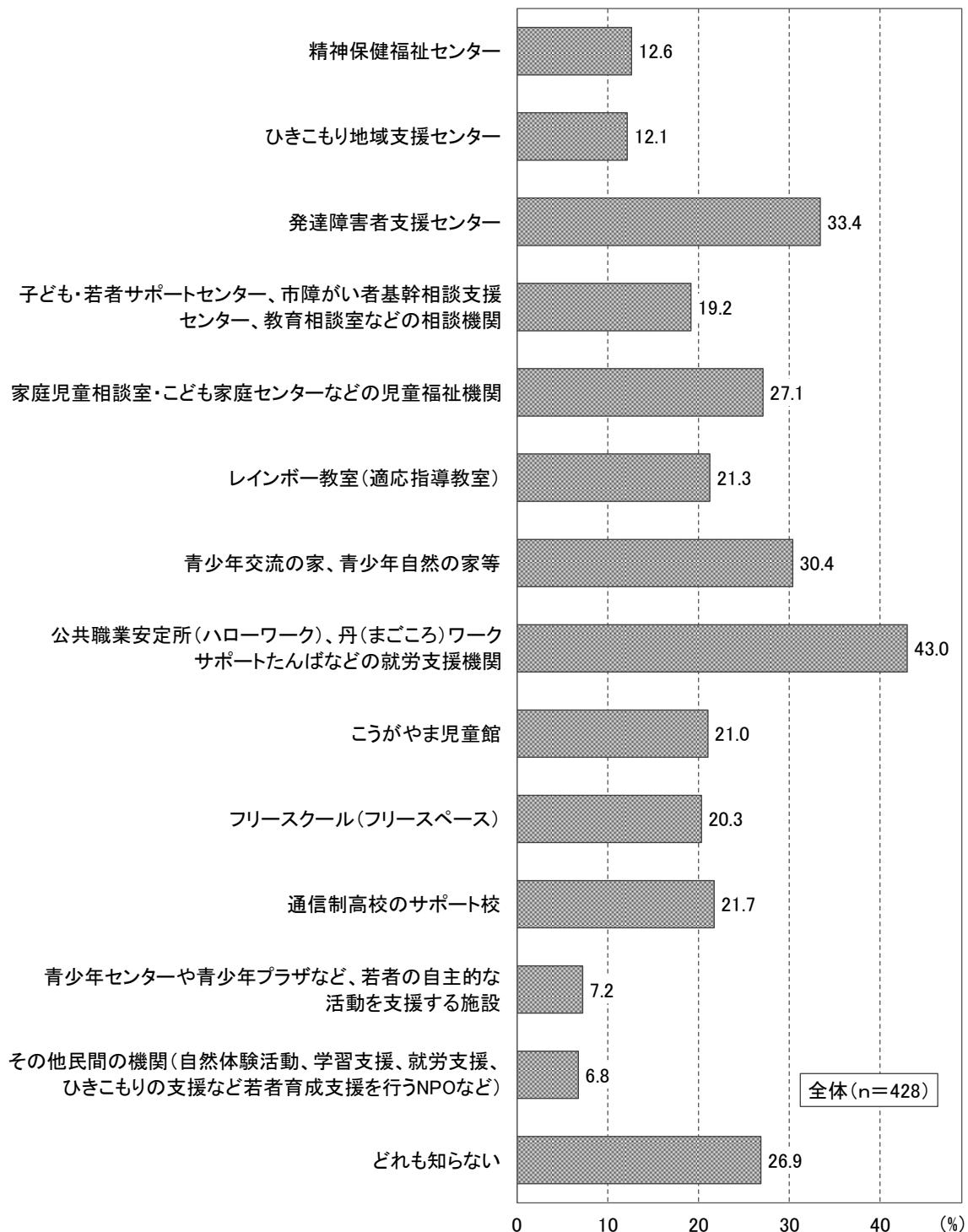
「世話をしている人はいない」が88.8%と最も高く、次いで、「母親」（4.2%）、「父親」（3.0%）の順となっています。



(9) こども・若者を対象とした育成支援機関等の認知度について

問9－1：こども・若者を対象とした育成支援機関等について知っているものを選べ【複数回答可】※16～39歳調査のみ

「公共職業安定所（ハローワーク）、丹（まごころ）ワークサポートたんばなどの就労支援機関」が43.0%と最も高く、次いで、「発達障害者支援センター」（33.4%）、「青少年交流の家、青少年自然の家等」（30.4%）の順となっています。



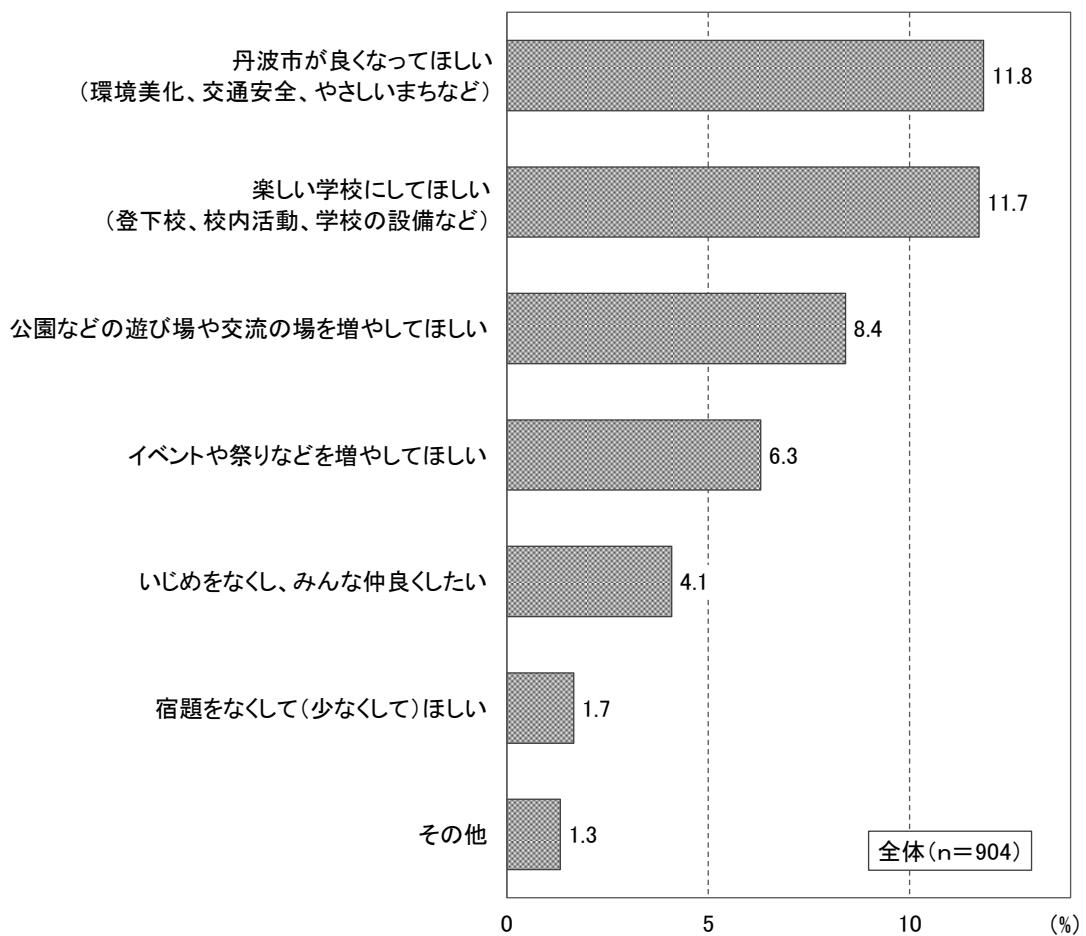
(10) 自由記述

【小5・中2】

丹波市や学校からこどもに対してやってもらいたいことや、大人からこどもたちにやってもらいたいことについて、自分が思うことを自由に書いてください。

小5・中2から寄せられた意見では、「丹波市が良くなってほしい（環境美化、交通安全、やさしいまちなど）」が11.8%と最も高く、次いで、「楽しい学校にしてほしい（登下校、校内活動、学校の設備など）」（11.7%）、「公園などの遊び場や交流の場を増やしてほしい」（8.4%）の順となっています。

【小5・中2からの意見】



※寄せられた意見をカテゴリーに分けてグラフ化しています。

◆自由記述のピックアップ◆

丹波市が良くなつてほしい（環境美化、交通安全、やさしいまちなど）

- ・ゴミ拾い。
- ・人がいやがることやポイ捨てをしない。
- ・通学路で危ないところがあつたら対策をしてほしい。
- ・ボランティア活動などを積極的にやりたい。
- ・みんなで仲よくできる丹波市になつてほしい。
- ・大人子ども関係なしにやさしくしてほしい。
- ・自分たちと違つたり出来なかつたりする人がいても、差別をしないでほしい。

楽しい学校にしてほしい（登下校、校内活動、学校の設備など）

- ・バスで登校できるようにしてほしい。
- ・すごく暑いから、家から学校まで遠い人は熱中症になつてしまうのでどうにかしてほしい。
- ・休み時間を増やす。
- ・国語、算数、社会、理科だけでなく、プログラミングや、少し貴重な体験などをしてみたい。
- ・体育館にエアコンをつけてほしい。
- ・授業を楽しくしてほしい。
- ・校則改善をしてほしい。

公園などの遊び場や交流の場を増やしてほしい

- ・子どもが遊べる公園や施設を作つてほしい。
- ・公園を増やしてほしい。
- ・スポーツのできる場所を増やしてほしい。
- ・学生や子どもたちが遊んだり集まつたりする場所がほしい。
- ・小さい子から年配の方までが遊べるゆっくり楽しく遊べるものや場所があつたらいいと思う。

イベントや祭りなどを増やしてほしい

- ・イベント、行事、お祭りをもっと増やす。
- ・丹波市にもっと多くの人が集まるイベントとかをしたらいいと思う。
- ・もっと地域の人とかかわるような行事を増やしてほしい。

いじめをなくし、みんな仲良くしたい

- ・いじめや不登校のことにもっと気をかけてほしい。
- ・丹波市の学校の子が集まつてみんなと仲良くする行事をつくる。
- ・みんなと仲良くなれるプロジェクトをしてほしい。

宿題をなくして（少なくして）ほしい

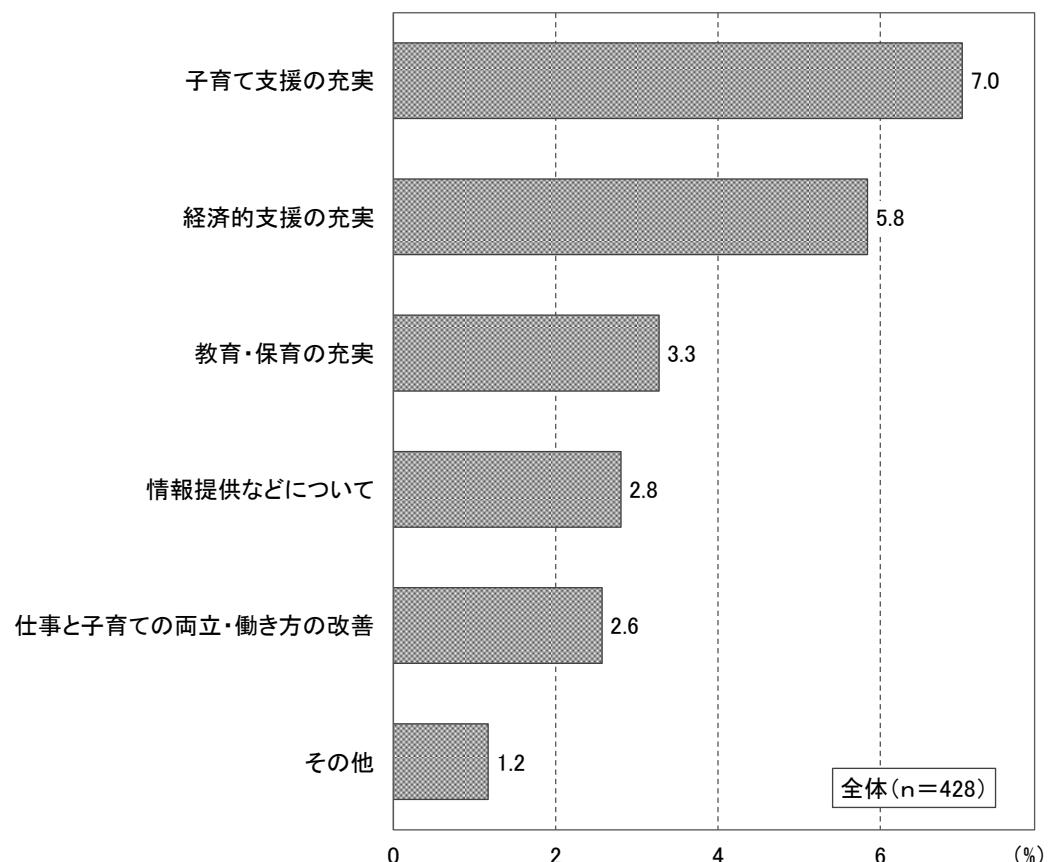
- ・夏休みの宿題を少なくしてほしい。
- ・宿題なしがいい。

【16～39歳】

子育て支援や若者支援など丹波市が行っている取組・施策について、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

16～39歳から寄せられた意見では、「子育て支援の充実」が7.0%と最も高く、次いで、「経済的支援の充実」(5.8%)、「教育・保育の充実」(3.3%)の順となっています。

【16～39歳からの意見】



※寄せられた意見をカテゴリーに分けてグラフ化しています。

◆自由記述のピックアップ◆

子育て支援の充実

- ・小児科が少なすぎる。熱があったり、嘔吐を繰り返している中、待つ時間などが本当に大変だ。スムーズに子どもを診てくれる小児科があるとうれしい。
- ・若い年齢での妊娠・出産に対する施設の開設・政策が必要だと思う。
- ・子育ては継続的サポートが必要。そのような体制があれば、出産も前向きに検討できる。
- ・安心して子どもを育てるこことできる環境を整えてほしい。
- ・子ども食堂等、もっと身近にあれば大変助かる。
- ・もっと子どもが外で遊べるように公園などの設備を整えてあげるべきだと思う。

経済的支援の充実

- ・妊娠や出産に出費が多く必要。長く支援してもらえる制度があるとうれしい。
- ・ここ数年の物価上昇により経済的な負担がかなり大きくなってきており、結婚をためらう若者も多いのではないかと思う。夢を求めて結婚したカップルにも不妊治療の補助金や子育て補助金など、踏み込んだ支援を期待する。
- ・私が育児休業中で、世帯収入が半減するので、今までの生活水準を維持するのが難しい。子育て世帯に給付金をするか、減税か、保育料を減額してほしい。
- ・丹波コインは使える場所も期限も限られているので、少し不便だ。出産準備・子育て応援給付には現金がよい。使わなかった妊婦のタクシー券を換金してほしい。
- ・単身の家賃補助や税金の減額など、もっと若者への支援もしてほしい。

教育・保育の充実

- ・学校の先生は、業務に追われているのもわかるが、教育者のプロとしてもっと一人ひとりの個性を大切にしてほしいと思う。
- ・入園を希望する保育園に入れない。
- ・すべての子育て支援センターが月曜休館であり、遊び場にも困っている。地域ごとに休館日を別曜日にしてほしい。

情報提供などについて

- ・将来性のある子どもたちを優先に考えた取組・施策をしてほしい。また、その取組やプロジェクト等をもっと対外的に知れるように情報を発信するべき。
- ・若者支援機関についてだが、私と同年代の人の中で一番知名度が高いのはハローワークぐらいで、そもそも若者の人口自体丹波市は少なく、身近な人から若者の支援機関の情報を得にくいので、インターネット等を通じて情報発信があるとよいと思う。

仕事と子育ての両立・働き方の改善

- ・子どもを持ちながらも女性が正社員として働く職種がもっと広がってほしいと思う。
- ・若者が働きやすい職場の整備や、車必須でない求人がもっとあれば地元に残りやすいと思う。